

東京大学

【NO22 東京大学】

	東京大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定） 【健康総合科学・公衆衛生系】
学部・研究科名	医学部健康総合科学科（第1年次：40名） 医学系研究科 健康科学・看護学専攻（M：25名、D：25名） 国際保健学専攻（M：21名、D：9名） 公共健康医学専攻（P：30名）
沿革・設置目的	<p>東京大学医学部が設置された後、昭和28年に衛生学、看護学に関する教育・研究を行うことを目的として、医学部衛生看護学科が設置された。平成19年に公衆衛生に関する教育・研究を行うことを目的として、大学院医学系研究科公共健康医学専攻（専門職学位課程）が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 新制東京大学設置と同時に医学部設置 昭和28年（1953年） 医学部に衛生看護学科を設置 昭和39年（1964年） 大学院生物系研究科に衛生看護学専門課程修士課程を設置 昭和40年（1965年） 医学部保健学科に名称変更 昭和41年（1966年） 大学院医学系研究科に保健学専攻（博士課程）を設置 平成4年（1992年） 医学部健康科学・看護学科に名称変更 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成19年（2007年） 大学院医学系研究科に公共健康医学専攻（専門職学位課程）を設置 平成22年（2010年） 医学部健康総合科学科に名称変更</p>
	<p><健康総合科学分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎生命科学・社会科学のアプローチに基づき、健康総合科学の広範な領域に係る知識・技術・研究の基礎力を養い、人間と環境を健康生活の観点から総合的に把握して、多様な課題を発見・解決できる、健康と疾病、保健と医療を担う研究者を育成する。 ○ 基礎生命科学、環境医学、社会医学、看護学の各領域における高い研究実績を活かし、世界を牽引する先端的で特色ある研究を推進する。 ○ 健康総合科学に関する教育研究の実績を活かし、国際機関や国内外の大学・研究機関との連携を推進し、当該分野の重要課題に対す

る政策提言や取組を通じて、健康総合科学の発展や水準の向上及び国際社会に貢献する。

<公衆衛生分野>

- 国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質（quality of life）の改善において、公共性や職業倫理を重視し、公衆衛生領域で指導的及び実践的な役割を果たす高度専門職業人を養成する。
- 行動社会医学、医療科学、疫学保健学の各領域における高い研究実績を活かし、人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質の改善に寄与する最先端研究を推進する。
- 社会ニーズに合わせた教育改革により国内公衆衛生人材養成拠点としての機能の強化、アジアにおける主要教育研究拠点としての地域の確立及び国際連携を推進するとともに、研究成果を積極的に国民・社会に還元する取組を推進する。